

脳卒中患者の食事動作へのアプローチ ～右手でお箸が持てるように～

演題名、副題名

徳島 太郎 123456 リハビリテーション徳島総合病院

氏名 会員番号 所属

キーワード: 片麻痺、嚥下障害、食事動作

キーワード

【はじめに】

[illegible]

〇〇〇〇〇以下に報告する。

【症例紹介】

80歳代、男性。平成〇〇年〇月、アテローム血栓性脳梗塞を発症〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

[illegible][illegible]

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

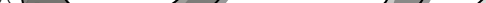
【評価】

【評価】

ブルンストロームリカバリーステージ：右上肢ステージⅡ、手指ステージⅠ、下肢ステージⅢ

筋力：右上肢 MMT1 レベル、右下肢 MMT2 レベル。左上下肢 MMT4 レベル

感觉障害:

[illegible]

【治療・訓練方法】

【治療・訓練方法】

右運動麻痺に対して○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○,

【結果】

右運動麻痺は右上肢ステージⅣ、手指ステージⅤ、下肢ステージⅤ、筋力 MMT3 レベルに改善。食

事動作は FIM6 点（修正自立） ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

[illegible][illegible][illegible]

【考察】

アテローム血栓性脳梗塞、右片麻痺患者の食事動作障害に対して課題指向型訓練、病棟でのチーム

アプローチを戦略的に実施した結果

[illegible][illegible][illegible][illegible]

○○○○○○○○○○

【参考文献】

【参考文献】

徳島次郎 他：食事動作障害に対する作業療法. 作業療法ジャーナル, 19(2), p91-94, 2015